

成長と分配の好循環に向けて経済対策の活用を

2021年11月19日

十倉 雅和
中空 麻奈
新浪 剛史
柳川 範之

1. 経済対策の意義

本年7-9月期のGDP速報値を見ると、主要国ではこの時期プラス成長する中において、わが国は実質GDP年率▲3.0%とマイナス成長となった。その後、緊急事態宣言が解かれ、足元の経済活動が回復しつつある今こそ、新型コロナウイルスの再発への医療面等で万全に備えるとともに、ダメージを受けた非正規の労働者などへの雇用機会や教育訓練面の強化、未来を拓く子供たちへの力強い支援等を通じて、不安を解消し思い切って経済活動できる環境とすることが重要である。また、世界経済の回復をリードできるよう、先端技術やイノベーション、デジタルの地方からの実装、さらには人への思い切った投資に向け政府のコミットメントを明らかにすることで、民間活動の予見性を高めると同時に、民間活力を最大限に引き出していく必要がある。

この点で、今回の経済対策については、以下の点を実現する対策となっている点を高く評価するとともに、その実現に万全を期したい。

(1) 思い切った投資の実施と多年度でのコミットメント

カーボンニュートラルの実現に向けたクリーンエネルギーへの投資、デジタルトランスフォーメーションの推進、「科学技術立国」の実現に向けた大学ファンド、労働移動の円滑化や人材育成のための3年間の政策パッケージ等、成長と安心に向けた多年度にわたる政策がコミットされ、投資・消費しやすい環境が整備されること

(2) 次の感染症の波が来ても経済活動をしっかり支えられる万全な体制整備

景気回復への最大の課題は、感染症の再来への不安・懸念。「全体像」の実行により、3回目のワクチン接種、病床確保、治療薬の確保等、に向けた道筋等が明らかになったこと

(3) 新型コロナウイルスで困難に直面した方々への支援

新型コロナウイルスで大きな影響を受けた方々へのきめ細やかで、適時適切な支援を通じて、新たなスタートに向けた活力の再起動が図られること

(4) 供給サイドを強化する規模

来年度にかけて、多様なリスクにも対応でき、かつ、人やイノベーションへの投資を通じて、供給サイドが強化される規模と内容になっていること

2. 経済対策の効果を最大化するために

本経済対策が、しっかりと効果を発揮し、真に成長と分配の好循環の起爆剤となるよう、以下に取り組むべき。

(1) 進捗状況等について見える化

成長と分配の好循環の拡大には継続的な取組が不可欠であり、本対策についての進捗管理を徹底すべき。特に、経済対策の主な事業について、令和3年度及び令和4年度の執行実績を明らかにすべき。また、今回の対策で充実・新設された基金については、各事業の性質を踏まえつつ、多年度にわたる実施計画の策定、進捗状況、成果評価等について、見える化を徹底すべき。

(2) 国民各層の声に耳を傾け、官民協力で使い勝手を良くする

車座等を通じて、現場の方々や当事者、地方自治体などの声を聞くなど国民各層との対話、経済界との連携等を通じ、各府省は、本経済対策が実際に使い勝手の良いものになるよう、そのための仕組みを構築すべき。こうした取組を通じて、成長と分配の好循環に向け、官民一体となって取組を加速し、民間への波及効果を含めて、施策効果を最大限に引き出すべき。